

広報 なかわだ

2014 年 4月号

4 月の予定

第 410号

受難の主日、教会委員会	13 日 (日)
聖週間 (木、金、土)	17 ~ 19 日
復活の主日	20 日 (日)
子どもミサ	27 日 (日)



中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2014 年 4 月 6 日

The Resurrection of Christ (Peter Paul Rubens, 1611)

スペインの聖イシドロの生き方

主任司祭 小林 陽一



San Isidoro de Sevilla
(Bartolome Esteban Murillo,
1655)

聖イシドロの生き方から、何かをくみ取っていただければ幸いです。

聖イシドロはスペインのセビリヤの敬虔な家庭に生まれました。イシドロは聖レアンドロ司教、聖アルゼンチオ司教の弟でした。家庭環境に恵まれていましたが、イシドロは頭が悪く、勉強嫌いでした。両親はイシドロを長男のレアンドロ司教が創立した学校に入れましたが、頭の回転が悪く、とうとう学校をとび出してしまいました。しょんぼりもの思いにふけるイシドロは、村の老婦人から問われるままに、自分の悩みを打ち明けました。老婦人は「この石をごらんください。水のしたたりですら長い間にはこんなに硬い石でも穴をあけることができるではありませんか。学問の道もこれと同じく、わずかの間で究めつくすことはできませんが、倦まずたゆまず努力するならば、かならず目的に到達するでしょう」と励ましました。イシドロはこれに元気づけられて、ふたたび学校に戻り、司祭を目指して猛烈に勉強をし出しました。こうして、数学、哲学、神学を身に付けて、年月を経て司祭になりました。

当時、スペイン国王レヴィジルドは救い主についての誤った説に惑わされ、カトリック信者を迫害していました。イシドロの兄レアンドロ司教はこの誤った説に反対し、迫害に苦しむカトリック信者を慰め励ましました。589 年、改心した国王の遺言により、次の国王レカルドがカトリック教会に帰正したので、それ以来カトリックがスペインの国教と定められました。

イシドロは修道院にこもり、祈りと研究に没頭していましたが、人々の切なる願いに応じて亡き兄アンドロの後を継いでセビリヤの司教になりました。深遠な学識と聖徳を身に付けたイシドロは司教として典礼、司牧、学校教育のために力を尽くしました。また、「神学命題集」「語源」を著しました。イシドロは絶えず祈りながら、貧しい人々に援助し、病者を慰め、罪人に赦しを与えました。イシドロは自分の死期の迫ったのを知って、全財産を貧しい人々に寄付し、善終の準備を終わってから安らかに帰天しました。

中和田教会から三浦海岸カトリック教会に転勤するにあたって

主任司祭 小林 陽一

このたび 2014 年 4 月 20 日付けで、小林陽一は中和田カトリック教会から三浦海岸カトリック教会に転勤を命じられ、4 月 26 日までに引っ越すこととなりました。

1976 年 11 月 3 日に富士カトリック教会で荒井司教様から司祭に叙階していただいて以来 37 年間横浜教区で働かせていただきました。2007 年からの勤務となった中和田教会では、皆様に助けいただき感謝にたえません。中和田教会の皆様、たいへんお世話になりました。心より感謝申し上げます。皆様のご健康をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



お別れの御挨拶

小林神父様を中和田教会にお迎えしてから早や七年、まだ昨日のようにしか思えません。お名残り惜しいことですが、四月二十日には三浦海岸教会へお送り致すこととなりました。

いつも物静かなお姿で、若かりし頃からの忍耐強さで様々な個性の私達信徒を御見守り下さり、当教会の発展に御尽力いただきました。日常の御聖務に加え、年中行事、冠婚葬祭等と激務をこなされてきました。それには常日頃から健康に留意された御生活に神父様の御努力が察せられました。

ミサのお説教は大人にも子供にも理解できるよう分かり易く説いていただき、毎回、心に浸みるものがありました。

本年三月号の広報（なかわだ）で初めて知ったことではありますが、神父様は現実社会も経験された上で聖職者の道を選ばれたとか。私達一般信者の生活をもよく理解して頂けて幸いでした。

これからは気候温暖な三浦海岸教会で、ますます御健康で信徒の皆様を御導き下さることを祈念致します。

本当に有難うございました。簡単ながら御挨拶にかえさせていただきます。

（教会委員長 上野 厚）



だるまさんころんだしてくれて
ありがとう おおみやみのり

いままでごミサをやってくれてあり
がとうございました。
おおみやりくひろ

ありがとうね。げんきでね。
はざまゆうたろう

初聖体の時、お話をいろいろしてく
れてありがとうございました。
もりわきえみ

ぼくは小林しんぶさまから せんれ
いをうけたとおかあさんからきまし
た。はつせいたいがつけられるよう
にがんばります。
ほしなはるき

ぼくは小林神父さまといっしょの教会でよかった
と思っています。なぜかという自分がないやんで
いることをゆるしのひせきで聞いてくれたり、じしゃ
のやり方もわかりやすく教えてくれたことがうれし
かったです。神父さまが他の教会に行くのはさび
しいけれどがんばってください。ぼくもがんばりま
す。
保科貴大

今までありがとうございました。神父様の
お話をもう聞けないのが悲しいです。新しい
教会でも今までのような優しい神父様でい
てください。
森脇留美

今まで長い間ありがとうございました。侍者の
時声をかけてくださった神父様がみんな大好きで
した。
森脇真美

神父様との思い出は僕自身の初聖体、堅信、
そして召命練成会です。特に練成会では神父様
が暑い中僕たちを電車で迎えに来てくださり、たく
さんお話した事は忘れません。本当にありが
うございました。
石井太一

中高生会での神父様のお話が忘れられま
せん。「マリア様はイエスさまのお母さん
という偉大な方だけで、私たちと同じ人間な
んです。」という内容でした。今までたく
さんのお話をありがとうございました。
石井霞

教会のわからなかったことをおし
えてくださりありがとうございました。
石崎尚樹

小林
神父様
ありが
うござ
いまし
た



小林神父様との 思い出アルバム



2007年10月28日 バザー



2007年11月25日 初聖体



2008年9月14日 敬老祝福ミサ



2009年12月24日 降誕祭聖劇



2011年7月31日 ガーデンパーティ



2007年6月17日 洗礼式



2010年10月31日 バザー



2013年5月26日 洗礼式



2013年6月2日 初聖体



2013年7月26日 ガーデンパーティ

お別れの言葉：レジオ・マリエ

中和田教会のレジオ・マリエは、宮下神父様、山崎神父様、グルニエ神父様、高野神父様、そして小林神父様へと引き続いて指導司祭に恵まれ、活動を続けていくことができました。小林神父様のご指導のもと、マリア様の精神に倣って、祈りと訪問の仕事を続けることができましたことを感謝いたしております。

小林神父様、長い間ご指導いただきありがとうございました。神父様のご健康と神様のご加護をいつもお祈りいたしております。

レジオ・マリエ会員一同

お別れの言葉：聖書の分かち合いの集い

ご着任早々から「聖書の分かち合い」の指導司祭としてご参加くださり、おかげさまで集いが中断することなく続けられましたことを感謝いたしております。

いつもみんなの分かち合いを静かに見守り、時に脱線すると、やさしく軌道修正してくださったり、またご自分の経験を分かち合ってくださいたり、聖書の大切な部分を解説してくださったり、本当に恵みの時、心豊かな時を持たせていただきました。お別れは残念ですが、一同心から感謝し、神父様のこれからのお働きに神様のご祝福をお祈りさせていただきます。「聖書の分かち合いの集い」一同



～ 中和田の風 ～

イエス様と共に
— 幼な子の心に戻って —

当教会で受洗されて丁度1年になる齋藤ゆかりさん（64才）にお話を伺いました。

▲洗礼を受けようと思われたきっかけは何ですか？

一家は仏壇がある普通の家庭でしたが幼稚園から高校までカトリックの学校に通っていました。毎日お祈りや聖歌を歌うことが当たり前の生活で子供心にイエス様をととても身近な存在に感じていました。その後大学、就職、結婚、子育てと日常生活の忙しさの中、イエス様との距離が遠のいていたように思います。父が晩年入院していた頃、病室の窓から近くに小山が見え一度も行ったことはありませんでしたが修道院があることを思い出しました。ある時ふと帰宅時にバスを降り坂道を延々と登って修道院を訪ねて、お聖堂で久々にお祈りすると子供の頃が懐かしく思い出され心地よい安らぎを覚えました。そしてここ数年来はイエス様をいつも身近に感じていた幼い頃のような心に戻って神の子になりたいという思いが募り、一昨年ホームページで中和田教会の MARIA 様を見た時迷いもなくここへ行こうと決めました。

▲齋藤さんは原因不明の治療困難な病に罹っておられるとのことですが、

一難治の筋肉の病気で、強い力で首から上が引きつり日常の行動が制限されています。3ヶ月に一度、注射を打つことが唯一の対処法で最初の一か月半ぐらい少し症状が和らぐ程度です。以前のような遠出や活動も最低限しか出来ず辛いと思うこともありましたが、近頃、苦痛に耐えることを神様にお捧げしようと思えるようになったのは、何よりも信仰を得たお恵みと感謝しています。

▲聖書の分かち合いとはどんなところですか。

一私にとって聖書の分かち合いは中和田教会における出発点として、なくてはならない存在であり心から素直に自分の言葉でお話しできる場所です。2年前の1月、皆様に温かく迎え入れていただいて以来、聖書のみ言葉に胸を打たれ、気づきを与えられ、また、神父様や皆様のお話の中に信仰の心を見い出せる大切な時間となっています。この分かち合いには神様のお恵みが注がれていることが感じられ、また「愛と癒し」が力強く湧き出る場所でもあると思っています。これからも聖書の分かち合いを深めながら少しでも身近なところから発信できるようになればと思っています。

▲小林神父様が異動されるにあたり一言どうぞ

一小林神父様に洗礼を授けて頂いたことを心より感謝しています。「十字架上で御父の御心に従うイエス様の最高の謙遜の姿をいつも心に留め、私たちも見習いたいものです」という神父様のお話が今も一番心に強く残っています。神父様を通してイエス様から頂いたメッセージとして生涯大切にしたいと思っています。これからも元氣でお過ごしいただきたいです。



日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
4	金		初金ミサ(10時)	★9:30～：十字架の道行きの祈り、掃除
5	土		主日ミサ(18時)	
6	日	四旬節第5主日	主日ミサ(9時)	
11	金			★9:30～：十字架の道行きの祈り
12	土		主日ミサ(18時)	掃除
13	日	受難の主日	主日ミサ(9時)	
17	木	聖木曜日	ミサ(19時)	
18	金	聖金曜日	祭儀(19時)	
19	土	聖土曜日	ミサ(19時)	掃除
20	日	復活の主日	主日ミサ(10時)	
26	土			掃除
27	日	復活節第2主日	主日ミサ(9時)	子どもと共に捧げるミサ

バザーについての検討会結果報告



バザーについての検討会の結果は次のとおりであったので報告します。

I. 開催日時、場所及び参加者数

日時：2014年2月23日午前10時25分～午後12時5分の間

場所：集会室

参加者数：25名

II. 結果

参加者25名のほぼ全員の方からバザーについて幅広く御意見を頂きました。その結果は次のとおりであります。

1. バザーを開催する

先ずバザー開催の是非については大方の御意見は、

- ① 当教会の財務状況からするとバザーから得られる収益は決して小さくないこと、
 - ② 近隣の方々にカトリックという宗教や教会活動を御理解いただくのに良い手助けとなること、
 - ③ 信者間の相互理解を深めるのに良い機会となること、
- の3点に集約されバザーを開催が望ましいという結果となりました。

2. バザー実行委員会を立ち上げる

なお、バザー開催に当たっては行事委員会に任せる従来方式では行事委員の負担が過重である。新たにバザー委員会を立上げこの委員会主導の下にバザーの準備、運営、実行等を行うのが良いのではないかとということとなりました。

バザー委員会の立上げ方法等については次のとおりとする。

- ① バザー委員会のメンバーは公募により集める。
- ② バザーに関する全てのこと（形態、内容、日時等のバザーの計画と実施方法）はバザー委員会で決定する。

【追記】 バザー委員会のメンバーを募集したところ12名の応募がありましたことをお知らせ致します。

（上野 厚、岩淵 洋子）

総務グループについて

総務グループは現在 小山（恭）、小山（利）、七浦（鑑）、小野（和）、岩淵（英）の5名で活動しています。私は総務係としては新参加者ですが、ベテランの方が多いので、教会の動きや仕組みがよく分かり大変勉強になりました。しかし、いつも人数が不足気味ですので、皆様是非御参加下さいますようお願い致します。

総務グループの主な活動は、信徒籍台帳や各種台帳（洗礼、堅信、婚姻、死亡）の維持・管理、証明書の発行（洗礼、堅信、初聖体、転出入）、連絡網、住所録、緊急連絡先等の維持・管理、教会現勢調査及び教区への報告等ですが、他にも、教会施設の予約管理、各種申込書の管理、郵便物の整理と仕分け、玄関ホワイトボードへの予定の記入、門の掲示板の管理、掲示物の整理、コピー機、パソコン、食器棚、冷蔵庫、事務室ゴミ等の作業もやっております。

このような定例的な活動のみならず、これまでの教会の仕組みや物事の進め方を少しずつでも改善していければと考えております。昨年は、電話による連絡網が今後運用困難になると予想されたので、その改訂を行い、定着してまいりました。今年はA、B、C、D地区割りの見直しを検討しております。これは時代の流れと共に構成メンバー数に偏りが目立つようになったため、より活動しやすく3地区に分けることを検討しております。近いうちに新しい案をご報告できる見込みです。

また、今後グループ委員や委員長を選ぶやり方、高齢化への配慮、教会建物の将来計画検討会の立上げ（営繕・建物、財務、他と一緒に）等々、皆さんと一緒に考えていくべき事項が多々あると思っています。

最後に紙面をお借りしていくつか御願いがございますので宜しくお願い致します。

- ・仕事の量に対して人数が不足気味なので、是非総務グループに御参加下さい。不定期でも結構です。
- ・連絡網ですが、FAX連絡を御希望される方で携帯かパソコンのメールをお持ちの方はできるだけそちらに御移行ください。（FAXは若干費用がかかる上、不確実なことがあるため）またメールアドレスなど変更がある場合はご連絡下さい。
- ・現在地番変更が進みつつあり、名簿の改訂をしております。住所変更があった場合はお早めに総務宛に住所変更届をご提出ください。

（岩淵 英介）

委員会だより (文中敬称略)

△3月9日(日) 12名出席▽

■報告事項

4月スケジュール確認

■各グループからの報告

●典礼(大宮(智))

・ゆるしの秘跡 サブとして3月30日(日)ミサの前後15分、4月6日(日)ミサ前

・聖歌の練習 4月6日(日)ミサ後30分程度「受難の主日の入堂行列」の聖歌の練習

・臨時の聖歌隊を設ける(オルガンの側で2、3人)

●財務(甲斐)

・特になし

●宣教(井上、石井(洋))

・運動会 5月18日(日) 湘南白百合小学校 午前9時半より受付

・参加費子供1人300円

・参加する保護者の連絡先をお知らせください。

・サマーキャンプ 8月8日(金) 10日(日)

・指導司祭調整中

・中高生会 3月29日(土) 18時

・新中学生4名を迎えて進級、進学のお祝いを兼ねて親睦会を予定。

・10名ぐらい集まると見込んでいます。

・堅信式の勉強会：第1回3月8日(土)

・実施、第2回3月29日(土) 予定

●要理(保科)

・小学6年生4名が要理を終了するので3月23日(日)色紙(寄せ書き)と修了証書を委員長さんから手渡して頂きたいー上野委員長了承

・聖週間のミサの侍者は中高生以上の方もお願いします。

・5月18日(日)運動会の日には子供がいないので中高生あるいは大人の侍者をお願いします。

●建物を考える会・営繕(福島)

・ダスキンは2月末で契約解除してモップ等、掃除道具を購入した。

・高窓用の掃除道具も購入したので信徒で掃除することが可能となった。

・3月29日(土) 10時 大掃除(上記の道具が不足であれば追加を検討する)

・先日降雪により庭木が倒れ伐採、剪定を松下さんの弟さんが行ってくださいました。

●福祉(楠田)

・四旬節愛の献金箱を設けた。

●総務、信徒の会(岩淵)

・地区割り

・人数、年齢などのバランスを取りながら近隣との繋がりに配慮して3地区に分ける方向で検討している。

・地区割りの活用

・行事委員、バザー委員、そうじ当番等の選出、各グループ委員の推薦、委員長の推薦等活用を検討したい。

●広報(今井)

・原稿依頼(締切3月26日)

●行事(内藤)

・バザー委員会を立ち上げ委員を募集している。男性の方も参加してほしい。

・今年の復活祭パーティは神父様の送別会も兼ね従来通り行う

・福祉からイースターの卵を有料にしてはどうかという提案があったが意見交換の結果、復活祭など大きな行事の際に献金することは意義があるとの意見でまとまり、献金箱を設置し献金を喚起して愛の献金会計に入れるとした。(四旬節の献金はカリタスに送る)

■討議報告事項(上野)

・3月23日 日野神父様との打ち合わせ

・サロンを持つという意見があったが日野神父様の時間に余裕があるか確実ではないので委員会での打ち合わせのみにする。

・小林神父様の送別について

・災害対策について委員は各々意見を箇条書きにして提出する。

以上

次回委員会 4月13日(日)

教会からのお知らせ

■訃報



フランシスコ・アシジ 清水 聖さん
3月11日に帰天されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます

編集後記

2014年「広報なかわだ4月号」は小林神父様が4月20日を以って三浦海岸教会に赴任されるにあたり小林神父様への送別を兼ねた特集欄を設けました。

上野委員長をはじめ、要理、中高生会、その他グループからメッセージを頂き、写真と共に神父様と信徒の皆様との思い出のページを作ることが出来ました。ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

神父様には「広報なかわだ」に巻頭言をお寄せ頂きありがとうございました。神父様の巻頭言は特に教え諭すというよりは、示唆に富み、味わい深く、その行間に神父様のお心が感じられました。神父様には三浦海岸教会でもお元氣にご活躍されることをお祈りしております。

信徒の皆様にはいつも「広報なかわだ」にご協力頂きありがとうございます。今後もグループの活動報告、インタビュー欄を続けていきます。また皆様の投稿もお待ちしておりますので引き続きご協力の程よろしくお願い申し上げます。



(今井 暁子)